

# 温泉場

温泉街の中心「温泉場」を昔の写真を見ながら散策してみましょう！



写真の一部は、秋保町史、伝承千年の宿佐勤、湯元小学校をはじめ、地元の方にもご提供・ご協力賜りました。

## 1~4 元湯4軒 (1佐勤・2岩沼屋・3水戸屋・4佐藤屋旅館)

旧源泉の周辺に並ぶ元湯4軒。佐勤は伝承1000年とされ、江戸時代には秋保温泉の湯守として源泉を守り続けてきました。また、江戸期には岩沼屋・水戸屋、そして佐藤屋旅館(当初はみせ屋)が誕生しました。



## 5 三叉路

温泉場の中心地、三叉路。元湯4軒の他、昭和30年頃まで源泉・共同浴場、郵便局(写真1左)や、さいち(写真1右端)がありました。

写真2は昭和40年代の旧共同浴場移転後の様子(奥に見えるのが水戸屋)、写真3は現在の様子。



### コラム ~温泉場の「源泉」と「共同浴場」~

秋保温泉の源泉は、当初三叉路の屏際にあり、昭和40年代までは自噴していました(温泉場の源泉数が増え自噴が止まったそうです)。

大正になって源泉の脇に「共同浴場」(露天風呂)ができ(現「秋保温泉湯元」停留所(佐勤側))、昭和7年の終わりごろに屋根付きの建屋となりました。この頃は男女の入口は別々でしたが、中は混浴でした。また、曇りだと源泉の温度が上がり、風が吹くと湧出が少なく温度が低くなりました。当時「かめちゃん」夫妻が切り盛りしていて、地域の人が集まるコミュニティでした。

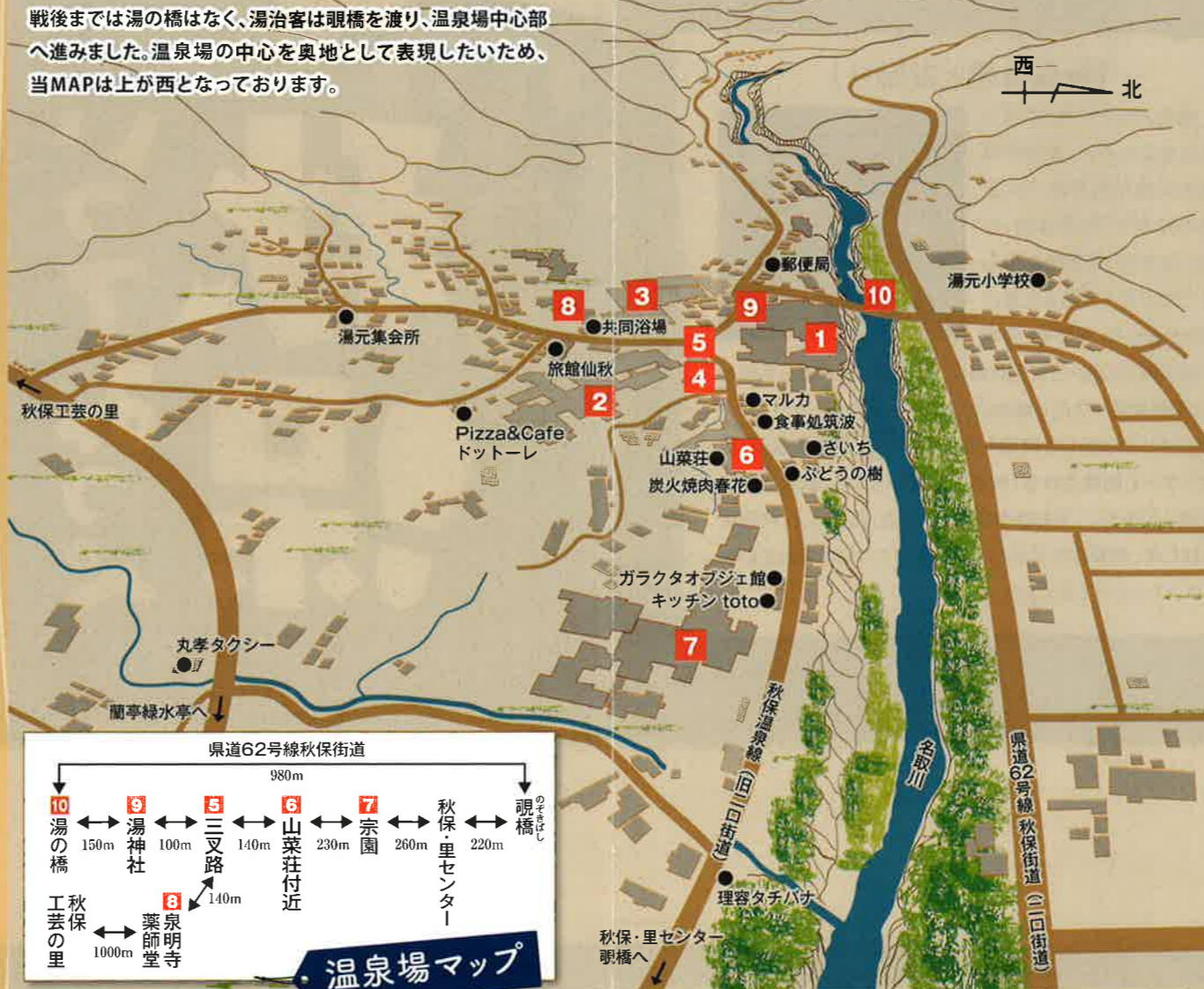
昭和29年頃から老朽化と源泉湧出量低下にて閉鎖となりましたが、旅館組合と湯元契約会の協議に

より昭和42年から移転先を検討、現在の場所に移転し、今も憩いの場となっています。



旧共同浴場

戦後までは湯の橋はなく、湯治客は覗橋を渡り、温泉場中心部へ進みました。温泉場の中心を奥地として表現したいため、当MAPは上が西となっております。



## 6 山菜荘付近

- 昔からお店が並ぶ場所で、地元民に親しまれています。
- ・山菜荘:牛乳風呂で有名。昭和42年開業。
- ・マルカ:大正時代から続く八百屋さん。
- ・食事処 筑波:手打ちそばから定食まで。
- ・さいち:「秋保おはぎ」で有名。お惣菜も美味しい!
- ・ぶどうの樹:洋菓子屋。銘菓「秋保焼」や窯出しプリン。
- ・炭火焼肉春花:地元の人も集うお店。
- ・ガラクタオブジェ館:廃材を使った現代アート作品を展示。
- ・キッチンtoto:独創的なたい焼きがたくさんあり!



大正時代の温泉場(写真左)と現在(写真右)。現在の「筑波」の場所には下駄屋さんがありました。

## 7 茶寮宗園の場所

現在の宗園の場所には、昭和33年までは湯元小学校があり(写真上・中)、その後王様風呂と25mの屋内温泉プールを備えたドリームランドができ、一世を風靡しました(写真下)。



## 10 湯の橋

戦後まではありませんでした。当時は渡石を利用して架けられた丸太や板橋だったそうです。大正~昭和前期の様子。地元の子どもは川で遊び、寒くなったら俗称「かざ湯」(現佐勤「河原の湯」・写真左)に浸かってあったそうです。



戦後、昭和24年、地域住民によって吊り橋が架けられました(工事中)。

昭和43年コンクリート橋に架け替えられました。



平成22年にコンクリート橋の隣に吊り橋が復元されました(歩道専用)。

## 9 湯神社・名取御湯碑

湯神社の創建期は不明ですが、慶安4(1651)年の棟札の記述より、それ以前からあったとされています。境内の「名取御湯碑」には、拾遺集に納められている「寛ぼつかな雲の通ひ路見てしかなとりのみゆけば跡はかもなし」の和歌、安政2(1855)年の大地震で源泉が枯渇するも、湯守寿右衛門が出羽三山に参拝し社殿を再建すると温泉が再湧出したことなどが記され、秋保温泉の守護神といわれています。



写真上は昭和50年前後、写真左下は現在の湯神社。写真右下は中にある堂宇。

## 8 泉明寺薬師堂

秋保温泉の守護仏を祀っています。慈覚大師・円仁の開創で、薬師堂に祀られている薬師如来像、日光・月光菩薩像は恵心僧都作と言われています。



写真左は昭和50年前後、写真右は現在の泉明寺薬師堂。